

# 多様化する民間非営利公益活動と 中間支援組織の役割

2021年6月26日（土）  
中島 智人

# お話しすること

- あらためて「民間非営利公益活動」とは
- 「多様化」の現実
- 「中間支援組織」の役割
  
- 横浜市市民協働推進委員、全国食支援活動協力会（食支援協）での経験から

# 「民間非営利公益活動」とは

■ 民間公益⇔国家公益

■ Equality と Equity

■ 公益的：不特定かつ多数の者の利益？

「参加の機会」「成果の活用」  
目的に照らし合わせた「合理的な限定」  
潜在的な受益者の多数性

■ 特定非営利活動法人（NPO法人）

vs

一般社団法人（非営利徹底型・共益型・その他）

公

個人の立場を離れて全体に関わること。社会。公共。世間。（大辞泉）

私

官

国の政務を執行する機関。朝廷・政府など。役所。おおよげ。（大辞泉）

民

# 特定非営利活動（促進法）

## （目的）

第一条 この法律は、特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること並びに運営組織及び事業活動が適正であって**公益の増進に資する**特定非営利活動法人の認定に係る制度を設けること等により、ボランティア活動をはじめとする**市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動**の健全な発展を促進し、もって**公益の増進に寄与する**ことを目的とする。

## （定義）

第二条 この法律において「特定非営利活動」とは、別表に掲げる活動に該当する活動であって、**不特定かつ多数のものの利益**の増進に寄与することを目的とするものをいう。

# ボランティア活動

ウィリアム・ベヴァリッジ (1948)

全体主義社会では、市民による家庭外のいかなる活動も、それが活発に行われるとしても、国家によって管理され、あるいは統制されたものとなる。一方、家庭の外での活発で豊かなボランティア活動、それは個人、あるいは他の市民との協力によって行われる、自らの生活や仲間たちの生活を向上させるためであり、自由社会の特徴を表すものである。

Beveridge, W. (1948)

Voluntary Action: A Report on Methods of Social Action

# 「多様化」の現実

- 「活動」「活動分野」の多様化 = 社会的課題の多様化
- 「担い手」の多様化
  - 「市民」（イシュー、テーマ）、「住民」（地域コミュニティ）、「生活者」（生活）
  - 当事者
  - 専門家
- 「組織」の多様化
  - 特定非営利活動法人、一般社団法人・財団法人、任意団体
  - 市民活動団体、地縁団体、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス
  - 協同組合
  - 会社
- 「規模」「成長イメージ」の多様化

# 多様な担い手

- 横浜市・協働事業の提案支援モデル事業、協働事業トライアルセミナー  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/kyodo/jirei/20171026120139.html>

- 採択団体

特定非営利活動法人Small Step	内部障害等を持つ子どもの地域の幼稚園／保育園・学校への移行支援事業
特定非営利活動法人かながわ311ネットワーク	「まちの防災組織」としてのマンション防災支援事業
金沢区災害ボランティアネットワーク	地域の小・中学生の防災力向上のための事業
特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ	肺がん患者外部講師を活用したがん教育のモデル事業及びその効果研究
アオバ住宅社	高齢者や生活保護受給者などの方に向けた転居サポートとその後の見守り活動、就労場所の提供事業
特定非営利活動法人のはらネットワーク	地域の子育てレスキュー隊／一時預かり施設でできること

# 中間支援組織とは

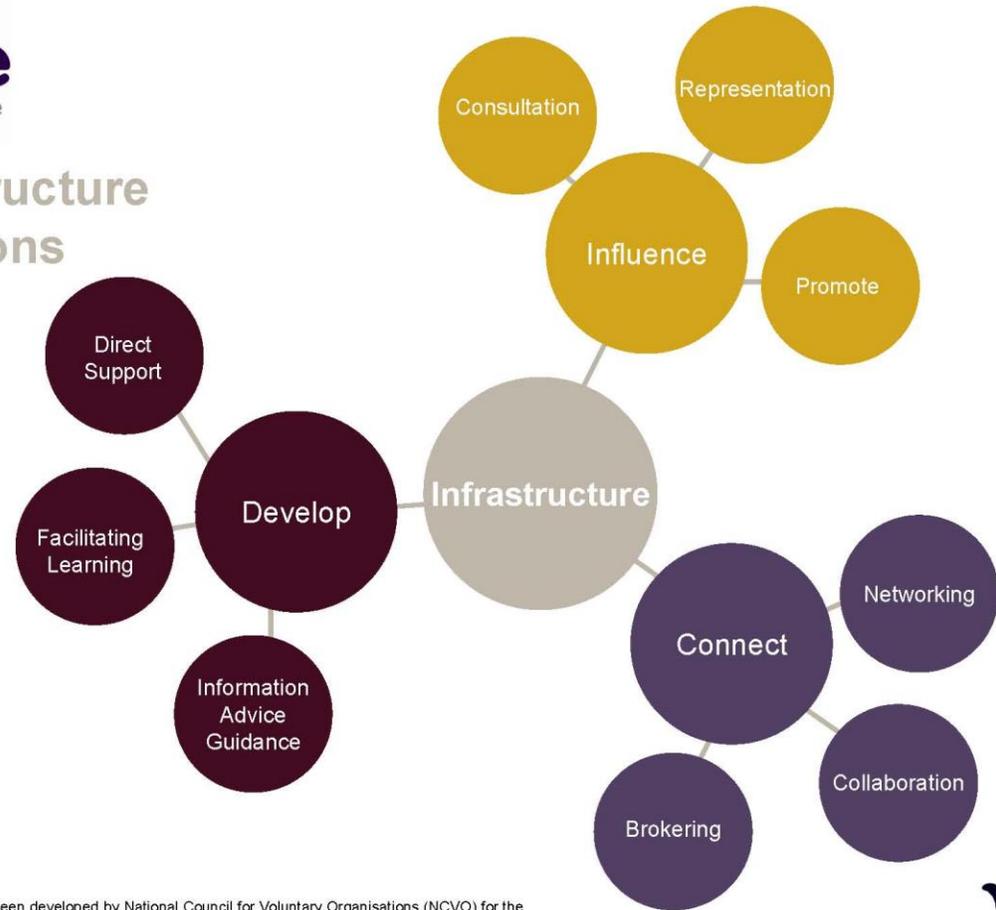
- インターミディアリー (intermediary)
  - 中間支援
  - 媒介
- インフラストラクチャー (infrastructure)
  - 基盤・基盤整備
- 総合型中間支援組織 (generalist)
- 領域特定型中間支援組織 (specialist)
- 専門型中間支援組織

# 中間支援組織の機能

- 開発する (develop)
  - 情報、アドバイス、ガイダンス
  - 学習促進
  - 直接支援
- つなげる (connect)
  - 仲立ち
  - ネットワーキング
  - 協働
- 影響をあたえる (influence)
  - 代表
  - 意見募集
  - 振興



## Infrastructure Functions



This functions map has been developed by National Council for Voluntary Organisations (NCVO) for the Value of Infrastructure Programme. It is based on PERFORM: the Outcomes Framework for Infrastructure. Also influenced by the 'Engage, Develop, Influence' Model of Infrastructure Function as developed by Growing up in the West Midlands (G:Up)



LOTTERY FUNDED

# 領域特定型中間支援組織

- 一般社団法人全国食支援活動協力会  
(旧、全国老人給食協力会)
- こども食堂サポートセンター  
<https://kodomosyokudo.mow.jp/about>
- こども食堂サポート機能設置事業  
<https://kodomosyokudo.mow.jp/support>

## 各地域のネットワークによる全国への食料支援の取組（（一社）全国食支援活動協力会）

- ✓ 全国22地域に寄附食品を受入・保管できるロジ拠点を整備し、約1000ヶ所の食支援団体へ食品を提供できる体制を整備。
- ✓ 食品の提供側・受取側双方にとってアクセスの良い拠点に食品を集約することで、**輸送の負担を軽減**。

- 全国食支援活動協力会において全国の企業等からの寄附相談を一括で受け付け、各地域への寄附を調整



- まとまった量の寄附食品を受入・保管できる拠点（ロジ拠点）の整備

企業からの寄附食品を、量を集約して卸せるようにすることで**配送を効率化し、費用を軽減**。

拠点の設備は**常温・冷蔵・冷凍に対応**。

現在、寄附食品の所在が確認できるようにし、迅速な分配を可能とするアプリケーションソフトの開発に取り組んでいるところ。

全国食支援活動協力会HP：<https://www.mow.jp/>  
(こども食堂サポートセンターHP：<https://kodomosyokudo.mow.jp/>)



MEALS  
on  
WHEELS  
ロジシステム

職人たちの  
社会を築く  
みんなの力  
循環型食料活用事業

# 中間支援組織の役割

- 「多様性」を活かす
- あらためて「つなぐ」ことの重要性
- 「参加」と「エンパワーメント」
- 「市民社会の価値」の振興
- ソーシャルイノベーションのゆりかご

# ソーシャルイノベーション

NESTA (2009)

ソーシャルイノベーションとは、明確に、社会的および公共の利益のためのイノベーションである。それは、伝統的な市場の形態では対象とならないような、また、公共サービスでは十分には満たされないか解決されないような社会的ニーズを満たすイノベーションである。

TEPSIE (2014)

ソーシャルイノベーションとは、社会的ニーズに応える新しいアプローチと定義される。それは、手段と目的とにおいて社会的である。受益者の権力と資源に対するアクセスを改善することにより、受益者を巻き込みそしてやり動かし、社会的関係と転換するのを支援する。